

小杉 土山
／ 私たちが越生町民生委員・児童委員です ／



= 特集 = 地域の絆づくり 民生委員・児童委員

住み慣れた地域で暮らすこと

現代社会は、少子高齢化や核家族化が進むとともに地域におけるコミュニケーションが薄れ、複雑かつ多様な社会的問題であふれています。こうした地域の中には、困っていてもSOSの声が発せられない人がいたり、適切な場所へSOSの声が届かなかつたりすることがあります。

越生町もよそ事の話ではありません。住み慣れた町に安心して健康的な生活を営むことは、誰しもが思う願いです。

SOSの声をキャッチする

地域の身近な相談相手として、SOSの声を拾い集める重要な役割を担っているのが、「民生委員・児童委員」（以下…民生委員）のみなさんです。

民生委員制度の歴史は古く、1917年に岡山県でスタートしました。今年は制度誕生100周年。現在、全国で約23万人が活動しています。

越生町には33人の民生委員が行政や学校、関係機関とタッグを組んで活動しています。今月号では、地域福祉のため日々奔走する民生委員をクローズアップします。

Q & A

教えて！民生委員さん

みなさんは「民生委員・児童委員」を知っていますか。名前は知っていても、実際に何をしているかわからない人が多いと思います。

そこで、4人の民生委員さんに、民生委員とはどんな人たちなのか、普段どんな活動をしているのか、その役割について解説してもらいました。

Q. 民生委員・児童委員とは？

民生委員は厚生労働大臣から委嘱され、地域福祉の向上のために活動するボランティアで、児童委員を兼ねています。任期は3年で全国一斉に改選が行われます。越生町では現在、33人(男性14人、女性19人)の委員がそれぞれの担当区域で活動しています。そのうち2人は担当区域を持たない主任児童委員として、子どもに関する相談や支援を中心にを行っています。



若林正弘さん
(黒岩)

Q. どんな活動をしているの？

見守る 1人暮らしで生活上の問題を抱える高齢者や、子育て世帯などを見守り、福祉の救助が必要な家庭を把握します。
支える 悩みを抱える人に寄り添い、相談に乗ります。
つなぐ 援助が必要な人と専門機関とのパイプ役となったり、社会福祉のサービスについて情報提供を行ったり、問題解決のお手伝いをします。



田端華代子さん
(河原)

Q. どんな相談を聞いてくれるの？

生活に関する悩みや不安があれば、気軽にご相談ください。民生委員には守秘義務があるため、安心して相談できます。こんな相談待ってます

- 子育ての身近な相談相手が欲しい
- 高齢で一人暮らしが心細い
- 福祉サービスについて知りたい
- 近所に困っている人がいるけど、声が掛けられない
- …など



長島玲子さん
(西和田)

Q. どれくらい利用されているの？

昨年度の越生町民生委員の活動実績は、「相談・支援」がのべ232件、地域の活動はのべ175件、「家庭訪問や電話連絡」がのべ4017回でした。この中には、実際に福祉サービスの提供機関と連携して解決したものから、些細な日常の相談など様々です。私たち民生委員は、「みなさんが住みよい街にしたい」という気持ちをモットーに活動しています。



吉原保雄さん
(大満)